

日赤岩木山パト・地元山岳協会が指導 雪崩事故を想定し研修



平成20年3月29日(土)から30日(日)、SAJ公認パトロール研修会が、福島県「あだたら高原スキー場」で開催されました。
第23回スキーパトロール技術競技大会も同時に開催されました。

あだたら高原

バックカントリーに対応を
来年は皆で、研修会に参加しよう

報告 県支部会長・佐藤安美

SAJパト研修会

今年度、SAJ公認パトロール研修会が、あだたら高原会場において、三月二十九日(土)・三十日(日)の両日開催され参加してきました。誠に残念な事に、岩手県からの参加者は、私一人でありました。この状況をどのように考えればよいのか……？

一泊二日の日程ですので、十時開会式の後、さっそく雪上での研修に入りました。

最近のスキーヤー、ボーダーは、オフピステ指向になつてきているので、昨年の研修あたりから、バックカントリー対応の研修内容となり、雪崩事故を想定してのピーコン搜索、ゾンデ棒搜索、シートを利用した搬送等、一連の訓練を実施しました。

これらの指導には、山岳スキーの遭難救助に精通している、日赤岩木山パトロール隊の一戸繁輝専門委員をはじめとする、岩木山パトロール隊があたりました。さすがに訓練と実績に基づいた指導であると実感しました。また、今回、あだたら山で山岳救助隊の任務をされている地元の方

より、市販されている折り曲げ自在のプラスチックシートを使つての簡易搬送ボートの紹介がありました。乗り手には快適そうに見えましたが、滑りも良かったのですが値段が高いのが難点だと感じました。その後、郡山在住のドクターパトロール菅桂一先生(麻酔科)のAED使用について最近の情報を含む理論講習が行われました。

初日、研修後は、岳温泉「安達屋」に移り研修会、技術競技大会参加者あわせて約百五十名の情報交換会が開催され、全国の仲間との深い交流ができました。

二日目は、六時半の「朝のつどい」から始まり、場所を再び、あだたら高原スキー場に移動し、バックカントリーの知識の実践として、スノーシュー体験をしました。ゴンドラ山頂駅舎から、あだたら山に向かつて、三分の一程、約三時間の往復体験でしたが、



競技大会も同時開催

PATO
岩手

協議会

No42号

事務局

〒029-4503

金ヶ崎町西根真析

152

日本スキーパトロール協議会
岩手県支部

http://www.geocities.jp/patokyoku_iwate/

パトロール検定を終えて

今後は勉強し経験を積む

小谷地健一・岩手高原



天候も良く、蔵王連邦など遠くの山並みが素晴らしい見えました。

今回は研修会、競技大会の同時開催でしたが、それぞれ別の日程で進行し、夜の情報交換会以外、行動は別々でした。しかし、閉会式までの短い時間でしたが、競技会のフオーメーション滑走を見るのができました。さすが実績のある宮城県選抜、ジュネス栗駒は素晴らしいものでした(ジュネス栗駒は別の種目でアクシデントがあったようです)。

岩手県連では、パトロール研修会も開催してはおります

私は昨年より岩手高原スキーパークパトロール隊に所属していますが、公認パトロールの先輩方からスキー場内の傷害事故防止対策の大切さを聞いていた矢先に、昨季の不幸な死亡事故は発生してしまいました。この事故の詳細が判明するにつれて、自分がそ

の現場に遭遇していたならば、自分は適切な対応が出来ただろうか？という気持ちと「一人の時であっても先輩方のような救急処置を自分もできるようにしたい」という気持ちから、事故後に公認パトロール検定の受検を決意しました。

受検を決意したのはいいのですが、小学校以来スキーをしてない自分が受検するためには、まず2級のバッチテストと1級のバッチテストを合格しなければならず、昨季はバッチテストの練習で終わったようなものでした。受検シーズンである今季も二度の養成講習会で上手く滑れずに苦労し、少しでも上手くなれるように頑張つて練習していたら、練習中に怪我をして最悪な状態のまま受検日を迎えることになってしまいました。

検定会場は北海道のルスツリゾートでしたが、広いホテ

が、来年は皆さんも時間を作って、SAJ研修会にも参加しようではありませんか！

参加も!!

岩手県支部総会

- 日時 2008年5月31日 15時～
- 場所 大船渡市三陸町 【遊・YOU・亭夏虫】
- 交流会 18時～

SAJ 公認スキーパトロール 合格者(47 期)

小谷地健一 (雫石町スキー連盟)

早坂 和直 (雫石町スキー連盟)

中島 克己 (一戸町スキー協会)

西館 豊 (一戸町スキー協会)

と二人で迷子になりそうになったことや、ホテルの中のメリーゴーランドを見て驚いたことは忘れることが出来ません。

検定会は初日に学科検定、二日目に雪上実技検定が行われましたが、雪上実技検定の時は風が強く、リフトが止まってしまったために足登りでの検定種目もありました。三日目のロープワークでは頭が真っ白になって一種目失敗しましたが、最後は何とか合格することができました。

これからもっと勉強して経験を積み、私が勉強したことや体験したことなどを、パトロール検定をこれから受検しようとする人たちに少しでも多く教えられるようになりたいと思います。

最後になりますが、岩手県の受検生全員を合格へ導く指導をしてくださいました阿部宏希さん、竹田直彦さん、高畑伸也さん、網張パトロール隊の皆様、日赤の講習会からお付き合いただいた竹澤伸也さん、本当にありがとうございました。初心を忘れることなく、日々研鑽し続けながら先輩方のようなパトロールになれるように頑張っていきたいと思っています。